

大谷學報

第四十六卷 第二号

昭和四十一年九月三十日発行

慧日論の仏性説……………富貴原章信……………(1)	詩の形成について……………荒木 文雄……………(22)
——Herbert Read から——	
知的徳性の教育……………藤 武……………(34)	——ハッチンズを中心に——
中国仏教と肉食禁止の問題……………道端 良秀……………(49)	人格について……………寺崎 峻輔……………(63)
——矛盾的性格を中心として——	
鈴木大拙先生を偲ぶ……………(73)	大拙先生の学績についておもう……………山口 益……………(74)
追 懷……………坂本 弘……………(85)	阿部行人助教授を偲ぶ……………(84)
阿部君を憶う……………立花 勝……………(85)	彙 報……………(86)

大 谷 大 學

大 谷 學 會

大谷大学研究年報 第十八集

明治時代の

ミルトン研究について……………宮西光雄

本願寺教団の東西分立……………柏原祐泉

——教如教団の形成について——

入阿毘達磨論の研究……………桜部建

古代貴族と仏教……………堅田修

——特に奈良朝時代の藤原氏について——

大谷学報 第四十六卷 第一号

インド哲学における

有神論をめぐる諸問題……………雲井昭善

クロード・ディアスについて……………井上正名

——「ハムレット」解釈の一助として——

竺道生の思想……………三桐慈海

婦命の尊貴……………本多弘之

ドイツ留学印象記……………箕浦恵了

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles:—

A View on the Buddha Nature in the *Hui-jih-lun**Shoshin Fukihara* (1)

Formation of Poetry

— a study of Herbert Read.....*Fumio Araki* (22)

Education for Intellectual Virtues

— Referring mainly to Hutchins' Educational Theory —

..... *Takeshi Fuji* (34)

Prohibition from Meat-eating in Chinese Buddhism*Ryoshu Michibata* (49)

On Person*Shunsuke Terasaki* (63)

Obituaries:

Memoirs of Dr. D.T. Suzuki (73)

Memoirs of Asst. Prof. Kojin Abe (84)

Reports:

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

会務を統理する。

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第七条 委員は十名とし、教授会において互選する。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・史学・文学並びにこれに関連する學術の研究と、その発表をおこなうことを目的とする。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

3、委員の任期は二年とする。但し、再任をさまたげない。

一、季刊「大谷学報」の発行
二、「大谷大学研究年報」の発行
三、研究会及び公開講演会の開催
四、その他必要な事業

会長 曾我量深
委員 稲葉秀賢 岩見 至 横超慧日
北西 弘 桜部 建 柴田良稔
細川行信 平野顯照 山本唯一

第四条 本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学部のすべての教育職員及び学生をもって会員とする。

第九条 会員の会費は年額金壹千円とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第一〇条 会員の経費は会費をもってこれに当てる。

第五条 本会に左の役員を置く。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。
第一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

一、会長
二、委員

第六条 会長には大谷大学学長が当り、

第一二条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。
附則 この規程は昭和三十七年四月

一日から施行する。
2、昭和二十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

大谷学会役員

昭和四十一年九月三十日発行

編集兼 大谷学会代表者
発行者 安 藤 俊 雄
印刷者 西 村 七 兵 衛
京都市北区小山上総町
大谷大学内
発行所 大 谷 学 会